

2026 年 8 月 17 日

報道関係各位

石油資源開発株式会社

Tel: 03-6268-7110 (代表)

<https://www.japex.co.jp/contact/>

## 苫小牧エリアでの CCS 事業に向けた試掘 2 坑目の開始について

石油資源開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山下 通郎、以下「当社」）は、苫小牧エリアでの CCS <sup>(\*1)</sup> 事業を推進するため、特定区域における CO<sub>2</sub>貯留に適した地層の確認を目的とした試掘 2 坑目の掘削を、8 月 15 日に開始しましたので、お知らせいたします。

今回の試掘は、当社が経済産業大臣より取得した試掘の許可 <sup>(\*2)</sup> に基づき実施するものです。試掘 2 坑目は、北海道苫小牧市真砂町に掘削リグ（掘削設備）を設置し、陸上から海底下に向かって斜めに掘り進め、CO<sub>2</sub>の貯留に適した地層の存在を確認します。1 坑目 <sup>(\*3)</sup> の試掘で得たデータとあわせて詳細な解析・評価を行い、その結果等を踏まえ、苫小牧エリアでの CCS 事業の最終的な投資判断を行う予定です。

掘削開始に先立ち、試掘の安全と成功を祈願する開坑式を 8 月 6 日に開催し、行政関係者や地元関係者、事業関係者など 27 名が出席しました。

苫小牧エリアでの CCS 事業は、出光興産株式会社の北海道製油所、北海道電力株式会社の苫東厚真発電所の排ガスから CO<sub>2</sub>を各社が分離・回収し、当社が地中に圧入・貯留することを検討している事業です。3 社は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（以下、「JOGMEC」）より受託した「先進的 CCS 事業に係る設計作業等」 <sup>(\*4)</sup> において 2030 年度の貯留開始に向けた取り組みを進めています。

当社は漁協関係者をはじめとする地域の皆さまや、関係自治体および機関などのご理解とご協力をいただきながら、安全最優先で試掘を進め、事業化に向けて取り組みを進めてまいります。

以上

注)

\*1: Carbon dioxide Capture and Storage (CO<sub>2</sub>の回収・貯留) の略。工場や発電所等からの排ガスから CO<sub>2</sub>を分離・回収し、地中深くに圧入・貯留する技術。

\*2: 2025 年 9 月 17 日付当社プレスリリース「[苫小牧エリアでの CCS 事業における試掘の実施について](#)」

\*3: 2025 年 12 月 16 日付当社ニュース「[苫小牧エリアでの CCS 事業における試掘に伴う開坑式を開催しました](#)」

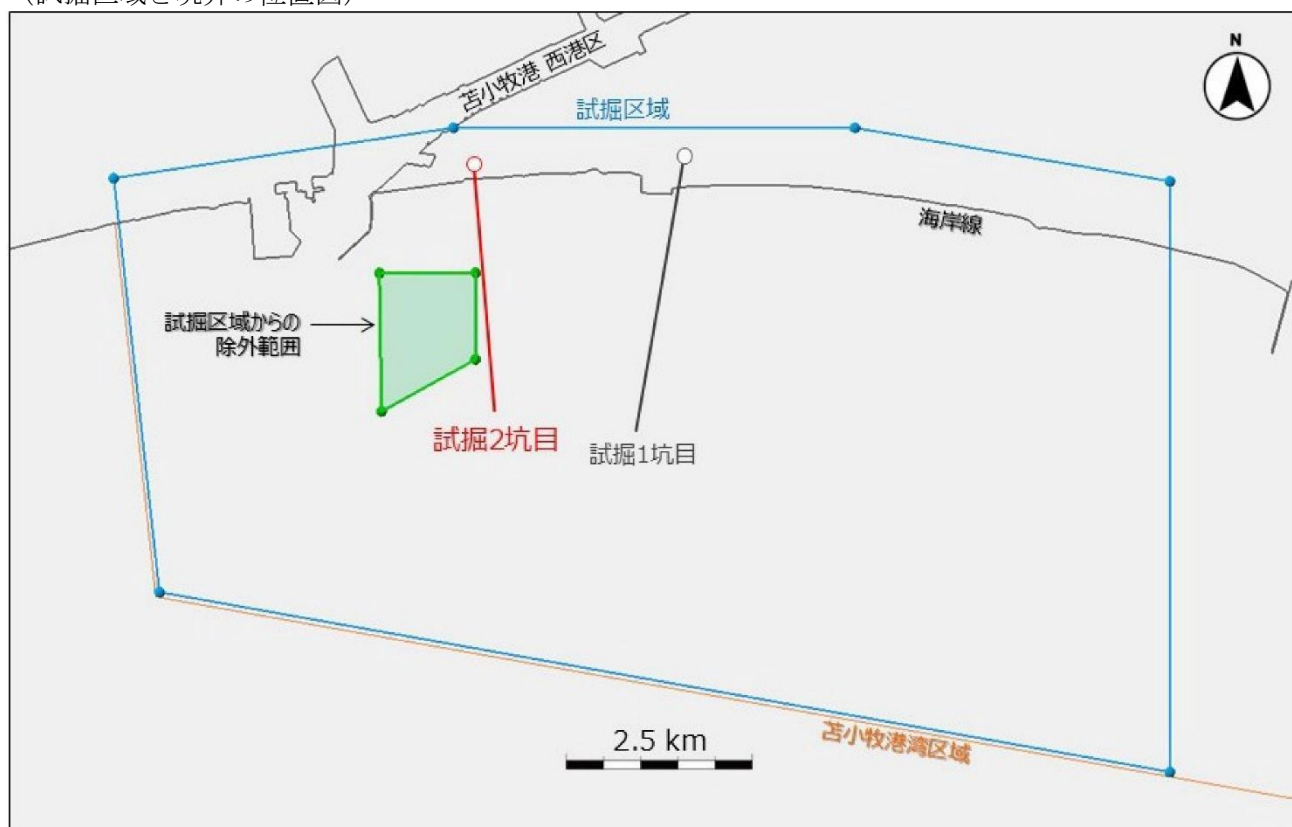
\*4: 2024 年 10 月 15 日付 3 社プレスリリース「[JOGMEC「先進的 CCS 事業」公募において苫小牧エリアでの CCS 事業開始を目指す設計作業等を受託](#)」

別紙

(2 坑目の試掘の概要)

|            |                                                          |
|------------|----------------------------------------------------------|
| 場所         | 北海道苫小牧市真砂町およびその沖合海域                                      |
| 期間<br>(予定) | 試掘 2 坑目：2026 年 7 月～2027 年 1 月 (210 日間)<br>※掘削リグの設置、撤去を含む |
| 予定深度       | 平均海面から約 1,420m                                           |
| 試掘方法       | 海岸付近の陸上に掘削リグを設置し、海底下に向かって斜めに掘り進める                        |

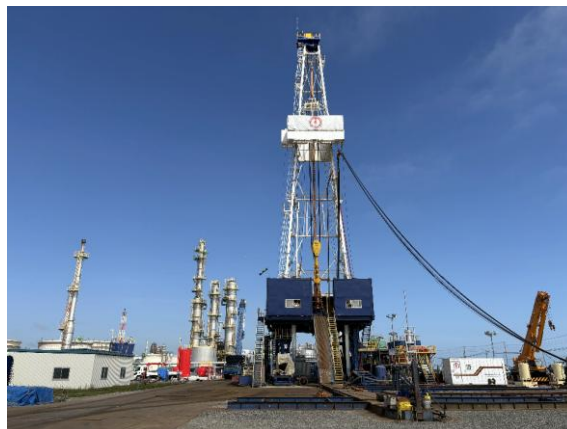
(試掘区域と坑井の位置図)



(参考写真)



(開坑式の様子)



(試掘現場の様子)

###